A 7-Day Inpatient Diabetes Education Program Improves Quality of Life and glycemic control 12 months after discharge

メタデータ	言語: English 出版者: 公開日: 2023-06-19 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 栗田, 実佳 メールアドレス: 所属:
URL	https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2002970

授与機関名　順天堂大学

学位記番号　甲第 2655 号

A 7-Day Inpatient Diabetes Education Program Improves Quality of Life and glycemic control 12 months after discharge

7 日間の糖尿病教育入院プログラムは、QOL と退院後の血糖コントロールを改善する

栗田 実佳（くりた みか）

博士（医学）

論文内容の要旨

2 型糖尿病患者の長期的な血糖管理のためには、高いレベルの治療アドヒアランスが必要であり、治療満足度や患者の QOL が密接に関連する。そのため、糖尿病の自己管理に関する患者教育が不可欠である。我々は 7 日間の糖尿病教育入院プログラムを実施しており、入院前と退院時に糖尿病治療関連（DTR）-QOL アンケートを実施している。そこで、我々の糖尿病教育入院プログラムが QOL と退院後の血糖コントロールを改善するかどうかを検討した。

本研究の方法は後ろ向き研究で、2017 年 7 月から 2020 年 3 月までに順天堂医院における糖尿病教育入院を行い、その後順天堂医院　糖尿病内分泌内科外来で 1 年以上治療を継続した 2 型糖尿病患者を解析対象とし、入院前と退院後の DTR-QOL スコアと退院後の血糖コントロールの関連を評価した。

140 名が解析対象となり、その結果 DTR-QOL アンケートの総スコア（入院時：67.4 ± 12.9 点，退院時：70.4 ± 12.3 点，p=0.002）と「治療満足度」スコア（入院時：44.6 ± 18.0 点，退院時：58.9 ± 17.8 点，p<0.001）に有意な改善が認められた。また、退院後 12 ヵ月の時点で HbA1c に有意な改善がみられた（入院時：8.49±1.53%，退院 12 か月後：7.31±1.04%，p<0.001）。HbA1c は入院時の「治療満足度」スコアと有意な負の相関（r=-0.228，p=0.007）を示したが、重回帰分析により、退院 12 ヶ月後の HbA1c は、入院時の「治療満足度」スコアとは独立して関連を認めず、性別、糖尿病罹病期間、入院時の HbA1c と独立して関連を認めた。

以上の結果より、我々の糖尿病教育入院プログラムは、2 型糖尿病患者の QOL 向上と退院後の血糖コントロールに有効であり、治療目標の達成と維持に役立つと考えられた。特に、男性、糖尿病罹病期間の短い、入院時の HbA1c が高い患者においてより有効であった。